



Rotary 関ロータリークラブ

2017-18 年度国際ロータリーテーマ RI会長 イアン H.S. ライズリー
『ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
2017-18 年度 関ロータリークラブ会長 テーマ
『温故(50)知新』 52 代会長 後藤信介

■会長 後藤信介 ■副会長 土屋佳久 ■幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第 2479 回例会 2017 年 10 月 25 日 (水)

「安桜山遊歩道案内看板除幕式」「保育園児と行く秋みつけ・お散歩会」



ロータリー：
変化をもたらす

前例会の記録・第 2478 回 10 月 17 日(火)12:30

「地区大会の報告」加藤浩二さん・古田貴己さん

- ◆開会点鐘
- ◆「我らの生業」斉唱
- ◆会長挨拶



皆さん、こんにちは、本日の卓話は地区大会の報告を加藤浩二さんと古田貴己さん宜しくお願いします。地区大会には遠方にもかかわらず、15人の参加をして頂き誠に有難うございます。お蔭で有意義な経験をさせて頂きました。2日目の講師で俳人で在ら

れる黛まどかさんの講演で、俳人の話ではあまり期待をしていませんでしたが、せっかく聞くのなら前で聞こうと思い聞きました。なぜか穏やかな誇張で話をされると私も俳句を作りたいと思い、生まれて初めての俳句を作りましたので聞いてください。

「秋の夜に」(香ただよう)「にぎわいを」

伊賀上野での夜の思い出を読ませて頂きました。出来栄は初めてですので下手ですが、私が俳句を作ること事態が想像出来ませんでした、黛まどかさんのマジックにハマったかなと思いました。

さて、前回の例会の時、アメリカ史上最悪の銃乱射事件について、私は「なぜ銃の規制をしないのか海の向こうの事は勉強不足で理解に苦しんでいます」と話をしましたが、余りにも無関心な話のしかたをしたと、反省をしています。そこで、私なりに勉強してみました。アメリカ建国当初、警察が政治の圧力的手段となる可能性があると思なされ、連邦政府が警察を整備して秩序維持の務めに当たらせるという考えは支持されなかった。そこで建国者たちは、秩序維持を州以下の政府に委ねることになり、その結果、治安維持活動は地域の特性に応じて異なる性格を持つようになり、

ニューヨークなどの北東部の大都市では、自治体警察が作られ、地方、農村部は、地理的に広大であるにもかかわらず人口が少なかったため、警察を整備するのは効率的な方法でなかった。これらの地域では、自警団が発達することになり、社会秩序の形成について、政府の果たす役割を重視する「上からの」秩序形成と市民社会の自発性を強調する「下からの」秩序形成という二つの方法を仮に区分するとアメリカでは、「下からの」秩序形成の考え方が強く、そして、このような秩序維持方法を可能にしたのが銃である、と言われています。2013年9月テキサス州にて小学校での銃乱射事件がありました。この事件は私も覚えていますが、この事件で世論は銃の所持を規制する方向へ行くのかなと思っていましたが、逆でした。子供達を守る為、先生が武装すべきだという論調になったそうです。実はこの乱射事件の時、真っ先に撃たれたのは、子供達を守ろうと外へ飛び出した校長先生でした。そこで、校長先生が銃を持ってさえたなら、となるのです。倒錯しているような気がします。この事件を受けてオバマ大統領は、子供達を守るために銃所持の規制をすべきだと表明しました。ところが、全米ライフル協会は、オバマは、自分の子供は銃を持ったシークレットサービスに警備されているのに、他の子供を守る銃は取り上げるのか、と言うのです。日本では考えられないことですが、民間人でも簡単に銃を購入できますし、2億7千万の銃が保有されている事実や歴史を鑑みるとこれだけの事故が発生しても何ら不思議ではありません。今、世界は核廃絶に世論が流れています。要するに核の傘の下という考えが変わりつつあると思います。考えようによってはこの銃の件も同じことではないかと考えられないでしょうか。日本では銃の事をあれこれ言いますが、核で考えれば納得できそうです。しかし今年のノーベル平和賞が決まった国

際的なNGOの連合体、「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の関係者は核兵器禁止条約不参加の日本政府に対して「被爆者への裏切り」と非難し、署名するよう強く求められています。現在日本国内では非常に平和ボケして居る為、海外の報道に対して海の方へと軽く考えているような感じがします。



《市政功労賞表彰》
地域貢献が認められ、関市長より、感謝状をいただきました。

◆委員会報告

◎出席委員会

委員 山田一成

会員 51 名中 29 名出席 出席率 59.19%

◎ニコボックス委員会 委員 木村聡

会長・副会長・幹事の皆さん・・・先日の地区大会には、多数のご参加、誠にありがとうございました。地区大会の報告を進んでお受けいただいた加藤浩二さん、古田貴巳さん、本日はよろしくお願ひします。

林（昇）、三輪、加藤（照）の皆さん・・・加藤浩二さん、古田貴巳さん、地区大会の報告お疲れ様です。大変有意義な大会であったことをうまく伝えていただけるとお思います。来年、更に参加者が増える事、間違いなしですね。どうぞよろしくお願ひします。

早川力さん・・・関 RC50 周年記念誌の発刊、ありがとうございます。

東谷、藤井、西田、福田、山田の皆さん・・・10/11（火）大門町の創作料理ほっとこにて、IGM が開催されました。ホストの細野さん、美味しいお料理ありがとうございました。

藤井淳さん・・・10月15日は市役所に行き、期日前投票を行いました。また午前中は市政功労者表彰式に、午後からは関市教育委員会表彰式に出席し、それぞれ表彰状と記念品を頂きました。このため地区大会には出席できず、申し訳ありませんでした。

林隆一さん・・・バースデーカードをいただきありがとうございます。

酒向徳享さん・・・バースデーカードありがとうございました。40代最後の1年ガンバリマス！

◆IGMの報告 福田春彦

日時：10月11日（水）18：30

場所：創作料理ほっとこ

ホスト：細野直則 リーダー：東谷好司

R情報：藤井淳

過日、10月11日（水）関市大門町創作料理ほっとこにて、ホスト細野直則さん、リーダー東谷好司さん R情報藤井淳さん、その他西田泰幸さん、山田一成さん、そして私、福田の合計6名でIGMを行いました。

発表者は山田さんのはずでしたが前回の奥村さんの自己紹介が力作であったが為に順番が僕になりました！IGMが初めてなのでボイスレコーダーを持参しましたが、ほっとこさんのBGM音量に負けて皆さんの声が奇麗に消されたので僕の記憶を呼び戻して報告させていただきます。今回は「伝統を守りつつ新しい物を取り入れる」不易流行？温故知新？がテーマでした。腕時計、カメラ、携帯電話などの身近な機械も時代とともに変化してきています。カメラや時計は古い物が人気の場合もありますが携帯電話はそういうわけにはいきません。我々の世代は、時代の流れの速さについて行くのが大変な面もあるように思われます。しかし、伝統ばかり残そうとすると時代に取り残されてしまいます。最近では、関市の伝統行事である刃物祭りで、刀とエヴァンゲリオンやスターウォーズとのコラボという事ができました。古い伝統を守りながら若い人達の興味を引くための方法です。また年賀状のことも話題にできました。今では少なくなった手書きの年賀状は、趣があって良いと思われる方も多いようです。ただ現実、忙しさにかまけて文明の利器を活用してしまいます。それぞれの時代の良いところを取り入れることによって発展していくということは、関ロータリークラブにもいえることだと思います。身近にある、伝統と新しい物の融合ということを改めて考える良い機会になりました。今回利用させていただきました、ほっとこさんは細野さんが行きつけのお店だそうで、料理も大変美味しく頂きました。本当にありがとうございました！PS：次回からメモはとります。

◆地区大会の報告 加藤浩二



地区大会は今年のカバナーのお膝元の伊賀上野にて開催されました。大会は、オープニングの新日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏の歓迎セレモニーを受けながら始まりました。特別招待者に大韓民国、中華民国のゲストがご参加されたことにより、同楽団により大韓民国国歌、中華民国国歌、そして日本国歌、ロータリーソング斉唱を行い開会しました。先ず、伊賀上野ロータリークラブの田山雅敏ガバナーが挨拶をされました。国際ロータリーのスローガンのもと、この開催地の伊賀は「忍者のまち」「俳聖芭蕉の故郷」そして、「伊賀焼の里」でもあり、翌週開催される、天神祭りのだんじり行列や鬼行列がユネスコ無形文化遺産に登録されたこともあり、本年度の地区大会のテーマを「今、ロータリアンは伊賀にときめく」として、RI 会長代理 田中正規ご夫妻が来賓として参加され、会員が和気藹々と楽しく親睦交流を図り、より良きロータリーの目的の推進を図るために情報交流をして頂きたいとご挨拶されま

した。その後、大韓民国の姉妹地区である国際ロータリー第3600地区ガバナー ユン・ヒオク ガバナー、国際ロータリー 第3510地区 台湾路竹（ロチク）ロータリークラブ会長のウ・チャンナン会長が来賓挨拶をされた。第1の基調講演 RI 会長代理の田中正規様今年の国際ロータリー会長のイアン H. S. ライズリー氏の「ロータリー：変革をもたらす」の精神の下、活動を通じて人々の人生に変化をもたらす事を呼びかける事業として、1つ目に長期の計画を立て価値ある活動を行う事。2つ目に会員1人に対し1本の植樹をして環境の持続可能な価値を高める。3つ目はクラブ会員基盤の多様性 会員増強に含まれる要素の性別、年齢、クラブの成長、会員数の推移、会員の維持、などがあり中でもクラブの活性化にとって若いメンバーを入れること、女性会員を入れることを考えてほしい。4つ目に高い倫理基準を維持し、ロータリーの目的をしっかり認識し、ロータリーの戦略計画を立てそれに沿って効果的に変化に対応し未来に向けた計画を立て実行していこう。第2の基調講演 甲府ロータリークラブ高野孫左衛門さん。高野さんは（株）吉字屋本店、山梨トヨペット（株）の代表取締役社長で現役の甲府ロータリークラブのメンバーで、また孫左衛門さんの父も祖父もロータリアンで祖父は創立70年の甲府ロータリーのチャーターメンバーであり、父は1982-83のガバナーをされ親子揃ってパストガバナーであります。そんなお二人は既に亡くなられてしまいましたが、棺に入るその胸にはロータリーバッジを付け埋葬されたそうです。共に2人は生涯ロータリアンでした。何故、2人は生涯ロータリアンだったのでしょうか？会員維持と言う事を考えた時、年齢が来たからロータリーを辞めると言う事をよく聞く、また何故ロータリーを辞めてしまうのか？ロータリーを途中経過だけ自分の人生のページをいろいろ出来事でもいいのか？そして何故、2人は後継者をロータリーに招き入れたのでしょうか？よく親父がいるから入らないとか、息子が入って来たから辞めるとか言う事を聞きます。父親が他界した時も何故自分を招き入れたのか考えたそうです。亡くなった後、父親の遺品を整理していてその疑問の答えとなる様な文章を見つけたそうです。それが、奉仕とは他者への働きかけであるように見えて、実は自分との戦いでありその結果として心の豊かさが与えられるものであり、誰かの為ではなく自分の為に奉仕と言うものはするもの。まさしくロータリー標語である「超我の奉仕」「最もよく奉仕するもの、最もよく報いられる」と言う言葉であります。その文章より2人とも奉仕の理想を象徴していて、ロータリーの存続維持の意味を理解したというお話をされました。今回は、ロータリーの基本とも言えるお話がメインであり、新入会員や私達も改めて、よりロータリーを勉強することができた貴重な講演

でした。

◆地区大会の報告 古田貴巳



地区大会2日目は小雨の中9:00より開始しました。1日目同様、新日本フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏の調べではじまり、ホストクラブ会長の挨拶から来賓の鈴木三重県知事及び岡本伊賀市長の祝辞がありました。その後、田中RI会長代理

より、RI会長代理アドレスとして、ロータリークラブの会員数の推移や女性会員の人数といった、現状報告がなされました。その中でも興味深かった点は、会員数とGDPのグラフはほぼ一致するというものでした。すなわち、会員数が増加すれば国内GDPも比例して増加するというものです。その後、大会特別委員会報告及び大会決議採択がなされ、次年度の地区大会開催の決議等10決議案が採択されました。休憩を挟んでの記念講演には、俳人の黛まどかさんをお迎えして、「世界の中の俳句～芭蕉から現代まで～」という演題で、俳句の素晴らしさや奥の深さ、そして俳句を通して日本の文化を世界に広められたご講演をされました。大会最後には、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、そして次期地区大会開催地の発表がされ、地区大会が閉会しました。その後、会場を移し大昼食会が開催されました。伊賀忍者特殊軍団のアトラクションで始まり、地元のおいしいお酒や食事でもてなされ、すべての日程が終了しました。



◆幹事報告

◎例会変更と休会通知

- ・例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 10月31日(火) 12:30
「財団から見たロータリーの存在意義」
RID2630 R財団部門 副委員長 堀部哲夫様
担当：R財団委員会

例 会：毎週火曜日 12:30
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア2F